

がくしゅうかだい（1ねんせい）



【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「かきと かぎ」（きょうかしよ 42～43ページ）をがくしゅうします。

- (1) 42 ページのぶんを、ゆっくり、おおきなこえで、よんでみましょう。
- (2) 「かぎ」「どあ」「かいだん」を、42 ページのえのなかからみつけて、ゆびでさしてみましょう。
- (3) 「さる」「ざる」のもじをくらべます。

「ざ」のように音がにごるとき、みぎうえに、ふたつのでんがつきます。

- (4) とりくみシートや、ノートのみす（しかく）から、はみださないようにして、「ざる」「かぎ」「ごま」「ぶた」をれんしゅうしてみましょう。
※43 ページをみて、かきじゅん どれにかいてみましょう。

◆「ぶんを つくろう」（44～45 ページ）をがくしゅうします。

- (1) 44 ページのぶんを、ゆっくり、おおきなこえで、よんでみましょう。
- (2) 44 ページをみながら、「わたしがはなす」「みんながわらう」をノートやとりくみシートにかいてみましょう。

ぶんのおわりには「。」（まる）をつけます。

- (3) 45 ページの えをみて かんがえましょう。

45 ページのえのなかからみつけて、ゆびでさしてみましょう。

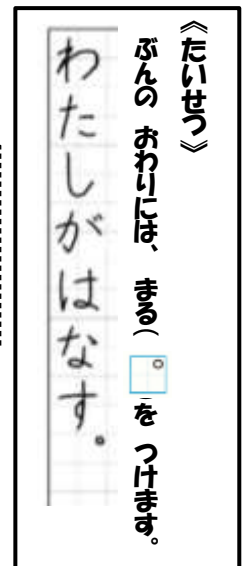
- ・ ねこが ねている。
- ・ おとこのこが おどろく。
- ・ はなが さいている。

- (4) 45 ページの えをみて、「が 。」というぶんを、じぶんでかんがえてつくりましょう。ノートやとりくみシートに、かきます。

ぶんのおわりには「。」（まる）をつけます。

※ぶんは、いくつ つくってもいいです。

※129～131 ページのひらがなをみて、かいてもいいです。



＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆「ぶんをつくろう」では、何が（主語） どうする。（述語）という文型についての学習をします。

- ・ (4) で、一人で考えることが難しい場合には、挿絵のある部分を取り上げ、おとこのこがやおんなのこがなどの主語に続く部分を考えさせてください。
- ・ お子さんが書いた文のおわりには、句点（「。」）が付いているか確かめてあげてください。

【さんすう】

「※」はべんきょうするときの せんせいからの アドバイスです。

<べんきょうすること>

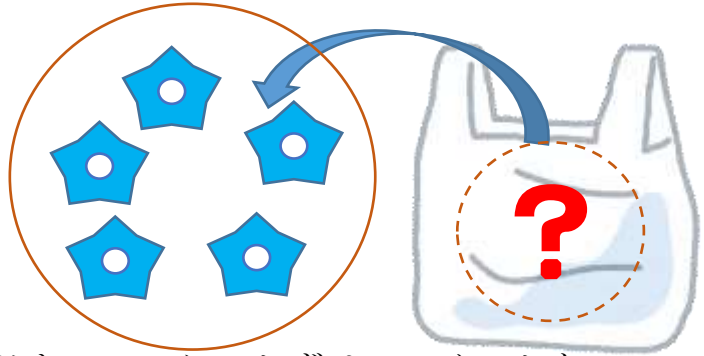
◆「いくつといくつ」（きょうかしよ 35～40 ページ）

ふくろの なかには、おはじきが 8こ はいています
あか がいくつ で あお がいくつかな？

(1) 5ことったとき、

ふくろのなかには

こはいています。



※ふくろのなかにある おはじきののりのかずは いくつかな。

ゆびで あらわしている かずは？

こ と こ

こ と こ

The block contains two illustrations of children counting stars. In the first illustration, a boy and a girl are counting 8 red stars and 5 blue stars. In the second illustration, they are counting 5 red stars and 5 blue stars. Below each illustration is a box with the characters 'こ' and 'こ' for counting.

(2) 8 は、5 と にわけられます。

と にもわけられます。

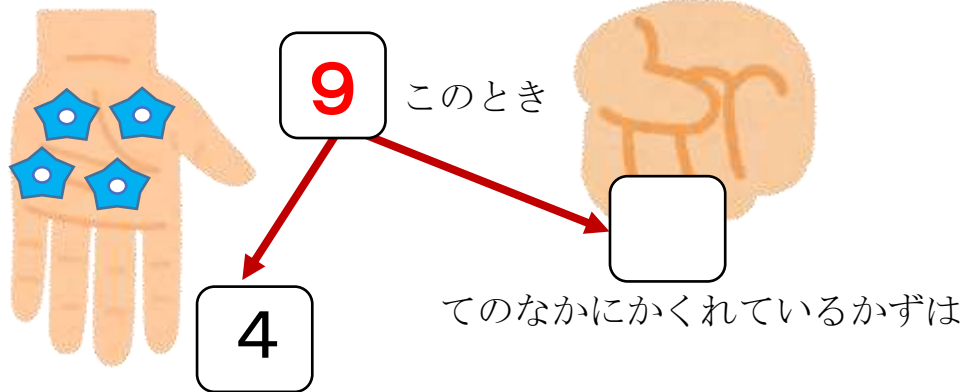
※ほかのわけかたもあるかな？ノートかとりくみシートにかいてみよう。

8も、2つのかずに わけることができたね。
ほかのかずでもできるかなのかな…。

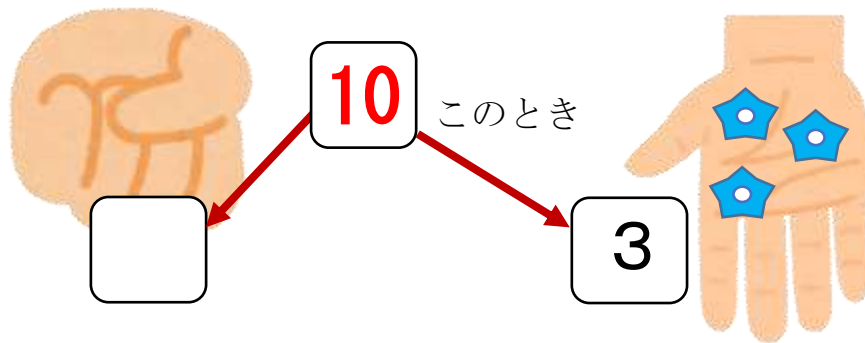


2つのかずに 9や10をつくることが できるかな？

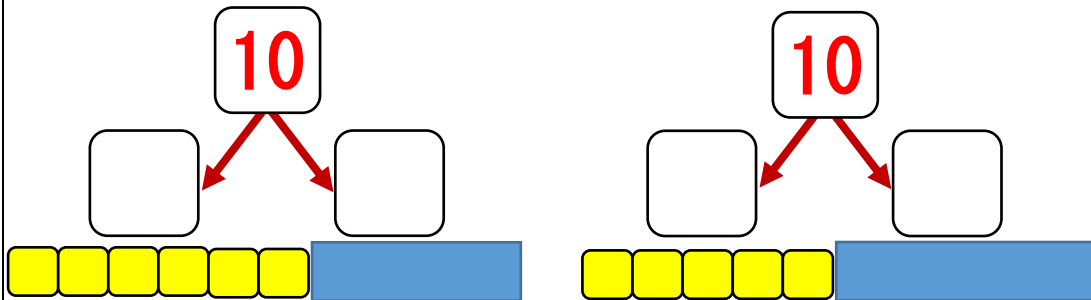
かくした おはじきは いくつかな？



もし さいしょに 10こ もっていたら…？



あおいしかくのなかにかくれているかずは



<この べんきょうで、わかったことや、きづいたこと、
おもしろかったところを、おうちのひとに おはなししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆いくつといくつ（教科書 P35～40）

- ・前回の課題で5、6、7について学習しています。その学習を使って、8、9、10について考えていきます。算数では、学習したことを使って、次の学習を考えるということが大事で、6年間継続して使う考え方になります。
- ・片方が分かっているとき、もう片方を予測するという 것도大事な学習です。

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてとく組みましょう。

＜べんきょうすること＞

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわとび」にとりくみましょう。

いろいろなとびかたで「まえとび」をしてみましよう。とびかたをくふうするだけで、なわとびがたのしく、じょうずになりますよ。

○まえとびのやりかた



まえとびのこつは、わきをしめて手くびをはやくまわすことです。わきに本をはさんでいるつもりでとびましよう。また、つまさきでちやくちするとじょうずにとぶことができます。

○ベル・スキー



ベルはぜんごにスキーはさゆうにとびます。

○グーチョキパー



まえとびをしながら、あしはグーチョキパーでちやくちをします。

○ケンケン



まえとびをしながら、ケンケンをします。さゆうどちらでもできるようにしましよう。

※よゆうがあれば「うしろとび」など、ほかのとびかたにもちょうせんしてみましよう。くりかえしとりくめると、じょうずになりますよ。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・跳んだ回数を数えてあげたり、こつをうまく生かして跳んでいる姿を褒めてあげたりして、継続して取り組む意欲へとつながるよう声をかけてあげてください。